

# 10 . 地獄留<sup>じごくとめ</sup>



図中文章(現代語要約)

洪水防止(水防工法)の五ヶ条の一つ。

「地獄留」は、石俵へ柳の枝を三本づつ結び付け、水当りが強く、崩落する箇所へ何俵も投げ込む工法。水中へ柳の枝で垣をつくったようになり、水底の崩落を防ぐので、地獄留めといわれている。

投げ込む時は、初めの三俵は太縄を結び、石俵が流れてしまわないように、「流し留め」と同様にする。残りは一度に投げ込んでしまう。